



# 西の風 Vol. 6

平成29年8月30日発行

二宮町立二宮西中学校 学校便り

発行者 松本雅志

町内5校の小中学校のトップを切って本校の2学期が始まりました。始業式では、この日の朝に発射された北朝鮮のミサイルの話と、全国学力学習状況調査の結果が発表されたことについて話をしました。学力学習状況調査について、新聞の「学習も部活動もバランス良く頑張り、メリハリをつけて生活を送っている児童・生徒の学力が高い傾向が見られた」との記事を話題にしました。3年生は夏休みに校長面接を行い、中学校卒業後の進路についての具体的な道筋や、2学期の学習・生活への取り組みについて聞きました。自分の理想に近づくことができるように、メリハリのある生活を送ってほしいと思います。

また、1年生は中学生としての自覚を高めること、2年生は自分の進路への意識を持つなど、それぞれの学年における目標を定め、充実した学期となるよう頑張ってください。

## ◎「家族で落ち合う場所」の集合訓練を行いました。

近年、多発している地震やその他の大規模災害に備えるために、本校では従来の避難訓練をより実際に即したものにするために、避難場所を「家族で落ち合う場所」ごとに設定し、訓練をしています。始業式後の時間を使って、体育館において全生徒が「家族で落ち合う場所」ごとに整列し、避難する準備をしました。

本校生徒は全員ポケットに携行できる「防災手帳」を持っています。その中に「家族で落ち合う場所」を記入し、いざという時に備えています。それぞれの生徒が落ち合う場所は広域避難場所であったり、家の近くの公園であったり、祖父母宅であったりとさまざまです。また、家族が引き取りに来るまで学校待機という生徒も多くいます。それぞれが、実際に自分がどこに避難し、どのように行動するかを考えています。

このように来るべき災害に備え、すべての生徒が、家族と一緒に安全に避難することができるように、今後も訓練を重ねていく予定です。ご家庭でも重ねて話し合いなどをお願いいたします。



## ◎総合的な学習の時間の発表および授業参観について

8月31日(木)3年生が自分の住む地域において総合的な学習の時間の発表会を行います。時間は午前9時~11時頃まで、場所は川勾・茶屋・越路：茶屋老人いこいの家、釜野：釜野児童館、百合が丘は百合が丘老人いこいの家、中里：中里老人いこいの家となっています。テーマは「地域提言活動」として、中学生が地域の人たちと協力して、地域のためにどのようなことができるのか、について班ごとに発表します。

少子高齢化が深刻な二宮町で、これからの地域・二宮町を担う中学生の提言を聞いていただき、ご感想やご助言などを頂けたらと思います。

また、9月9日(土)には授業公開・地区別懇談会が行われます。授業は各学年において教科の授業です。また、地区別懇談会は将来的に導入される、「コミュニティスクール」としての中学校のあり方をふまえて、地域と中学校がどのように連携して中学生を育てていくかについて話をしていきたいと考えています。

地域の子どもを育てるには今まで以上に、家庭の力のみならず、地域の方々の力が必要な時代です。地域は様々な力を持った方々の宝庫です。ぜひ、そのお力を中学生のためにお役立ていただければ幸いです。